

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	悪性黒色腫	
	タイプ	医学専門情報	
タイトル情報	論文の英語タイトル	Determinants of outcome in melanoma patients with cerebral metastases.	
	論文の日本語タイトル		
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称	MMCQ19-9	
書誌情報	研究デザイン	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1 つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見（ I V ）	
	Pubmed ID	15051777	
	医中誌 ID		
	雑誌名	J Clin Oncol	
	雑誌 ID		
	巻	22	
	号	7	
	ページ	1293-300	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
	発行年月	2004 年	
	著者情報		氏名
筆頭著者		Fife KM	Royal Prince Alfred 病院、シドニー大学
その他著者 1		Colman MH	同上
その他著者 2		Stevens GN	同上
その他著者 3		Firth IC	同上
その他著者 4		Moon D	同上
その他著者 5		Shannon KF	同上
その他著者 6		Harman R	同上
その他著者 7		Petersen-Schaefer K	同上
その他著者 8		Zacest AC	同上
その他著者 9		Besser M	同上
その他著者 10		Milton G 他	同上

一次研究の 8 項目	目的	脳転移を生じた悪性黒色腫の予後、治療の効果、生存を解析する	
	研究デザイン	後ろ向きコホート研究および症例対照研究	
	セッティング	シドニー大学	
	対象者	686 例の脳転移症例（1985～2000 年） 原発部位：体幹部(29%)、四肢(28)、頭頸部(26)、その他(17)	
	対象者情報（国籍）	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず （3）	
	対象者情報（性別）	1.男性 2.女性 3.男女区別せず （3）	
	対象者情報（年齢）	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず （12）	
	介入（要因曝露）	手術＋放射線治療：158 例 手術単独：47 例 放射線治療単独：236 例 対症療法：210 例	
	エンドポイント（アウトカム）	エンドポイント	区分
	1	生存期間	1.主要 2.副次 3.その他（3）
	2	無増悪生存期間	1.主要 2.副次 3.その他（3）
	3	予後因子	1.主要 2.副次 3.その他（3）
	4		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	5		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	6		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	7		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	8		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	9		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	10		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	主な結果	平均生存期間 手術＋放射線治療：8.9 か月 手術単独：8.7 か月 放射線治療単独：3.4 か月 対症療法：2.1 か月 予後因子（多変量解析）：手術施行、頭蓋外活動性病変なし、若年者、初期治療から転移までの期間が長い症例	
	結論	治療法は生存期間に影響するようであるが、治療方針の決定には患者選択が大きく依存している。	

	備考	
レビュワーコメント	レビュワー氏名	鹿間直人
	レビュワーコメント	後ろ向き研究ではあるが、悪性黒色腫の脳転移例のみを扱った最も症例数の多い報告の一つ。 筆者も指摘しているが生存期間の違いは、患者選択（バイアス）にかなり依存している可能性があり、データの解釈には注意が必要。 レベル I V